

## 一般外来の受診

- ・聞こえにくさを理由に受診をした場合、まずは治療可能な病気がないか調べます。
- ・補聴器の希望があり、なおかつ治療ができない難聴があるようなら、補聴器外来を予約します。



## 補聴器外来①

### 問診、検査、説明、初期設定（イヤモールド作成）

- ・詳細な問診をとり、生活していく上でどんなことに困っているのか詳しく聞き取ります。
- ・必要な追加の検査を行います。
- ・補聴器診療（宇都宮方式聴覚リハビリテーション）について説明します。
- ・元の聴力に合わせて、聴力のゴールを決定します。片耳だけにするのか、両耳にするのかも相談します。聴力のゴールの決定は、当院医師が「きこえるプロジェクト」の言語聴覚士の先生と相談した上で決めます。
- ・不快感を軽減するため、ゴールの70%くらいに出力を設定します。
- ・条件に当てはまるようなら、身体障害者の申請方法や自治体の補助などについてもご案内します。
- ・必要に応じてイヤモールドを作成します。出来上がるのに2週間程度かかります。



## 補聴器外来② 2週後

### 補聴器貸出、検査、補聴器調整

- ・補聴器を無料で貸し出します。
- ・実際に補聴器からどのくらいの音が出ているか補聴器の特性を測定しつつ、補聴器の出力を微調整します。補聴器の調整は宇都宮方式聴覚リハビリテーションのトレーニングを受けた認定補聴器技能者が行います。
- ・補聴器をつけていただき、実際にどのくらい聞こえが良くなるか検査をします。
- ・この日から毎日、朝起きてから寝るまで常に補聴器をつけていただきます（常時装用）。



## 補聴器外来③-⑦ 1~2週ごと（補聴器貸出から1週間~2.5か月まで）

### 問診、検査、補聴器調整

- ・つけ始めてからの状態（聞こえが良くなったか、起きている時間は常につけることができているか、どんな場面で使いづらいかなど）について詳しく聞き取ります。
- ・聴力のゴールに向け、補聴器の特性や補聴器装用時の聴力を測定しつつ出力の調整をします。



## 補聴器外来⑧ 補聴器貸出から3か月後

### 問診、検査、補聴器を購入するかの決定

- ・ゴールとしていた聞こえを達成できているか検査にて確認します。
- ・3ヶ月間の調整で「なくてはならない補聴器」になったと感じ、補聴器によって生活の質が向上するようであれば補聴器を購入していただきます。



## 補聴器購入後

- ・トレーニング期間終了後は、3ヶ月に1回の耳のチェックと乾燥剤・チューブの交換のために受診していただきます。
- ・適宜補聴器の調整や検査を行います。
- ・少なくとも1年に1回は聴力検査を行います。
- ・5~10年で補聴器は買い替えが必要です。